

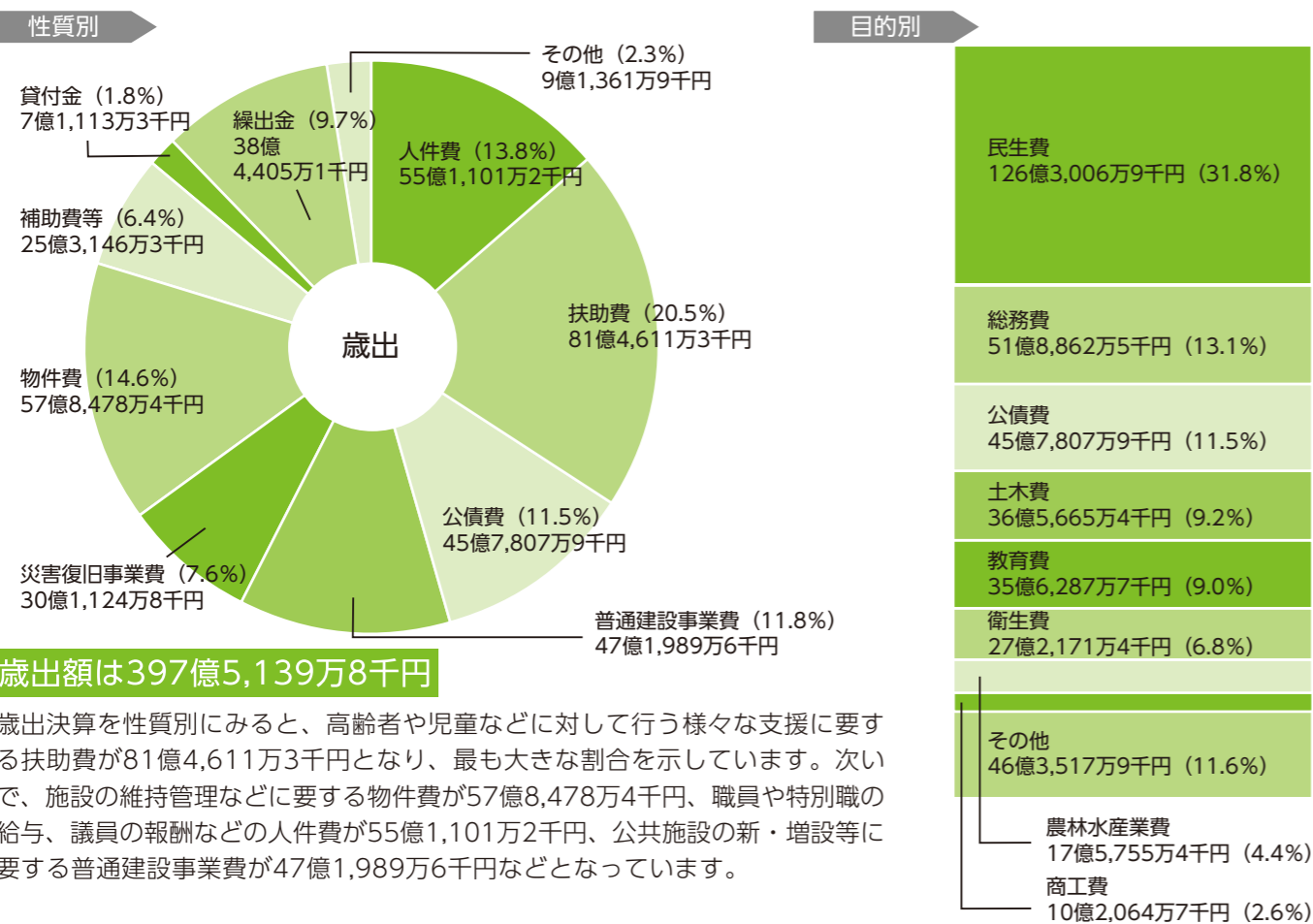
市民の皆さんに納めていただいた税金のほか、国・県からの支出金などがどれくらい入り（歳入）、どのような事業にどれくらい使われたのか（歳出）、市の財政状況をお知らせします。

左図に過去3年の決算の推移を表しています。令和元年度の決算は、歳入総額408億7,877万6千円、歳出総額397億5,139万8千円となりました。歳出は、普通建設事業費が、前年に比べ約13億円の増額となっていますが、基金等の活用による健全な財政運営に努めました。

市の財政状況をお知らせします

財政課財政係 ☎ 8634 (市役所4階)

一般会計 歳出



歳出額は397億5,139万8千円

歳出決算を性質別にみると、高齢者や児童などに対して行う様々な支援に要する扶助費が81億4,611万3千円となり、最も大きな割合を示しています。次いで、施設の維持管理などに要する物件費が57億8,478万4千円、職員や特別職の給与、議員の報酬などの人件費が55億1,101万2千円、公共施設の新・増設等に要する普通建設事業費が47億1,989万6千円などとなっています。

一般会計 歳入

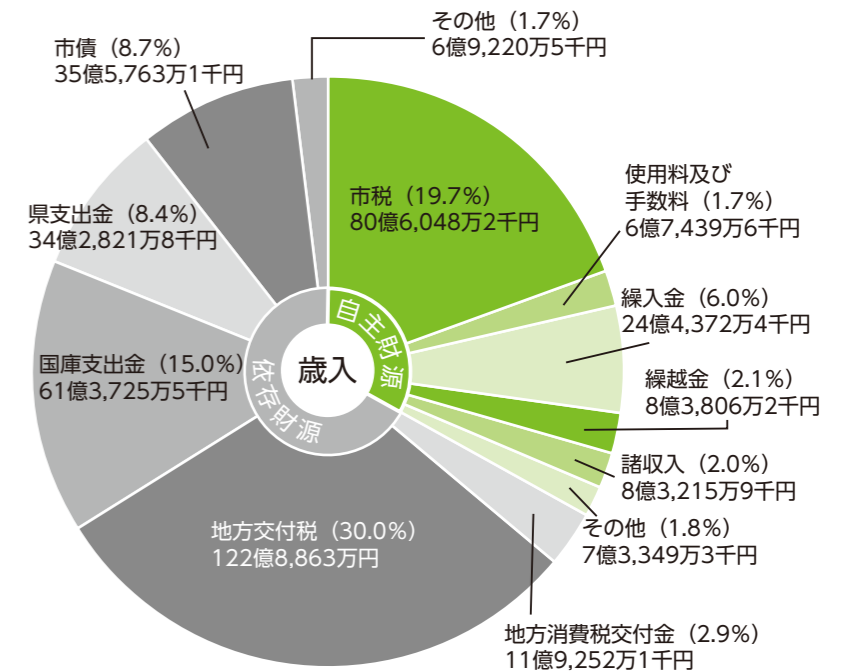
歳入額は408億7,877万6千円

市に入った令和元年度の一般会計の歳入は408億7,877万6千円でした。その内訳は、国や県に頼った依存財源が66.7%、市で賄う自主財源が33.3%となっています。

皆さんから納めていただいた市税は歳入総額の19.7%を占め、80億6,048万2千円となり、国からの地方交付税は122億8,863万円と歳入全体の30.0%を占めています。

依存財源とは、地方交付税などのように国や県等に頼った財源のことをいいます。

自主財源とは、市税や使用料・手数料などにより市が自主的に収入することができるもので、自主財源の割合が高ければ高いほど、その使途の決定において自主性が高いといえます。



用語説明

・一般会計：地方公共団体の会計のうち基本的・全般的な経費を計上する会計

・特別会計：特定事業に限定した収支を経理する会計

【歳入】

・市税：市民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税などの税金

・地方交付税：市町村が等しく事業を遂行できるように、国から交付されるお金

・地方譲与税：国が徴収した自動車重量税等から市に配分され、交付されるお金

・分担金及び負担金：地方公共団体等の事業で利益を受ける人に負担してもらったお金

・国・県支出金：市町村が行う特定の事業に対して国又は県から交付されるお金

・市債：市の借入金で償還が1年を超えて行われるもの

・繰入金：基金として積み立てたお金を取り崩して収入とするお金

【歳出】

・人件費：職員や特別職の給与、議員の報酬など

・扶助費：高齢者や児童などに対して行う様々な支援に必要な経費

・公債費：事業を行うために借りたお金（市債）の返済（元金・利子）などの経費

・普通建設事業費：学校や施設、道路の新・増設などに要する経費

・物件費：賃金、旅費、施設の維持管理などに要する経費

・補助費等：補助金の交付や負担金の拠出に必要な経費

・災害復旧事業費：土砂崩れなど、災害が起きた所の原状復帰のための経費

目的別

・総務費：行政全般の事務などに関する経費

・民生費：障がいのある人、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費

・衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費

・農林水産業費：農林水産業振興のための支援や生産基盤整備などの経費

・商工費：商工業や観光の振興のための経費

・土木費：道路や河川、公園、施設建設のための経費

・教育費：小・中学校、社会教育施設、体育施設などの建設・整備・運営維持管理に要する経費